

委員会報告第 2 号

地域防災・自然災害に関する調査特別委員会報告書

令和元年9月25日第3回定例会において設置された当特別委員会が、これまで調査した結果を下記のとおり報告する。

令和 3 年 2 月 1 7 日

七飯町議会議長 木 下 敏 様

地域防災・自然災害に関する調査特別委員会

委員長 川 上 弘 一

記

1 調査の経過及び内容

- (1) 令和元年9月25日に第1回目の委員会を開催し、委員長に川上弘一委員、副委員長に長谷川生人委員をそれぞれ互選した。
- (2) 令和元年12月13日に第2回目の委員会を開催し、今後の調査方針についての協議を行った。当特別委員会としては、砂防事業を中心とした河川事業を調査事項とし、要望事項を挙げていくことに決定した。
- (3) 令和2年7月14日に第3回目の委員会を開催し、経済部長、土木課長の出席を求め、提出資料に基づいた説明の聴取を行うとともに、現地調査を行った。

はじめに、軍川通常砂防事業は、平成19年の被害を契機に、平成21年度より北海道が砂防事業として着手したもので、遊砂池、溪流保全工の整備により、土砂災害から人家、災害時要援護者関連施設などを守ることを目的とした砂防施設の整備を行うものである。

藤城川通常砂防事業は、平成19年度の被害を契機に、平成22年度より北海道が砂防事業として着手したもので、砂防えん堤や溪流保全工の整備により、土砂災害から人家、災害時要援護者関連施設などを守ることを目的とした砂防施設の整備を行うものである。

水無沢川通常砂防事業は、平成19年度の被害を契機に、平成21年度より北海道が砂防事業として着手したもので、砂防えん堤や溪流保全工の整備により、土砂災害から人家や国道などを守ることを目的とした砂防施設の整備を行うものである。

蒜沢川通常砂防事業は、平成9年の被害を契機に、平成11年度より北海道が砂防事業として着手したもので、溪流保全工、遊砂池などの整備により、土砂災害から函館市桔梗町、七飯町大川地区の人家などを守ることを目的とした砂防施設の整備を行うものである。

久根別川広域河川改修事業は、昭和56年、昭和61年、平成3年の被害を契機に、平成4年より北海道が広域河川改修事業として着手し、河口から上流15.2キロメートルの区間、支川蒜沢川は久根別川合流点から上流3.6キロメートルの区間について、堤防の新設や河道の掘削により河積の拡大を行うものである。

これらの説明の聴取の後に、現地調査を行った。

また、次回の委員会において、要望事項等について協議することを確認した。

- (4) 令和2年8月17日に第4回目の委員会を開催し、経済部長、土木課長の出席を求め、前回に引き続き現地調査に関する質疑を行った。

北海道への要望事項については、次回までに素案を作成し、委員会に諮って決定していくということを確認した。

また、要望書の提出方法についての協議を行い、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、委員全員で行くのではなく、正副委員長が委員会を代表して要望へ行くことを確認した。

- (5) 令和2年10月20日に第5回目の委員会を開催し、経済部長、土木課長の出席を求め、北海道及び北海道渡島総合振興局へ提出する要望書の確認を行った。また、前回の委員会において、要望は正副委員長が代表して行くことを確認したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、要望書を持参することについては、正副委員長において町理事者や北海道と協議して決めることを確認した。

(6) 令和2年11月9日に当特別委員会正副委員長が町長及び議長とともに北海道渡島総合振興局に対して、久根別川広域河川改修事業の整備促進、藤城川砂防事業の整備促進、軍川砂防事業の整備促進、水無沢川砂防事業の整備促進、蒜沢川砂防事業の整備促進、の5項目について要望活動を行った。

北海道渡島総合振興局からは、これらの事業の進捗状況についての説明があり、軍川砂防事業については今年度完了予定であり、その他の事業については今後も町と連携をし、引き続き事業の推進に努めてまいりたいとの回答であった。

また、11月16日に北海道建設部へ要望を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のおそれがあることから自粛し、11月16日付けの要望として、北海道渡島総合振興局から北海道建設部へ要望書を送付していただくよう依頼し、手交した。

(7) 令和3年1月14日に第6回目の委員会を開催し、北海道渡島総合振興局への要望についての報告を行うとともに、これまでの調査活動について、報告書に記載する事項の確認を行った。

(8) 令和3年2月17日に第7回目の委員会を開催し、令和3年第1回定例会に提出する報告書のまとめを行った。

2 まとめ

以上がこれまでの調査活動である。

当特別委員会では、久根別川広域河川改修事業、藤城川砂防事業、軍川砂防事業、水無沢川砂防事業、蒜沢川砂防事業について、計画や進捗状況、今後の予定等の聴取や現地調査を行った。

これらの現状を踏まえた上で、令和2年11月9日に北海道渡島総合振興局に対して、久根別川広域河川改修事業の整備促進、藤城川砂防事業の整備促進、軍川砂防事業の整備促進、水無沢川砂防事業の整備促進、蒜沢川砂防事業の整備促進についての要望活動を行った。

近年は、当町では大きな災害は発生していないものの、国内においては、台風やゲリラ豪雨と呼ばれる局地的な豪雨などによる甚大な被害が発生していることを踏まえると、災害に強いまちづくりに向け、より一層の取組を望むものである。

町においては、今後も引き続き河川の整備促進、早期完成について北海道等の関係機関に対し要望していくことを望み、当特別委員会の活動報告とする。